

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	研修などを通じて身体拘束の内容や要件などを学習し実践につなげているが安全面を考慮し、出入り口はテンキーによるオートロックで利用者が出入りできる状態にはなっていない	事例検討などを取り入れ今以上にスタッフの身体拘束についての理解、知識を増やし適切なケアを実施する。気分転換等を行い拘束感を与えないように支援する。	身体拘束適正化検討委員会で必ず報告を行う。気分転換の時間を設ける。	6ヶ月
2	35	年に2回の消防・避難訓練は実施しているが地域の協力を得るまでには至っておらず、地震や水害などの避難訓練も今後の課題である。	地域の方々との協力体制を作り年2回の消防避難訓練をより意味のある訓練をしていく	消防団との関係づくりや訓練時には周辺地域の方へ告知や協力依頼をする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。